



# 看護問題対策委員会ニュース

全日本赤十字労働組合連合会 NO. 13-04 2013. 10. 2

## 日本医労連看護対策プロジェクトチーム 必要人員の出し方 目指すべき看護体制

今回は、  
2ページです

日本医労連の看護対策プロジェクトチームが中間報告として目指すべき看護体制(必要人員)を病棟、外来、オペ室、透析室に分けて提起しました。今回は、病棟チームの報告を紹介します。

### 1. 算出の前提

- ①病棟の特殊性は考慮せず、全体を平均して考える。
- ②2007年の国会決議では、日勤は患者4人に看護師1人、夜勤は患者10人に看護師1人(40床の場合、休憩があるので夜勤は常時4人確保のため5人夜勤となる)
- ②' 先進諸国の配置数では、医療の高度化などから日勤は患者2人に看護師1人で算定すると、日勤20人、夜勤5人
- ③正循環を組むため、労働時間は32時間
- ④1997年実施の算定方法に習い、実態に見合ったものにする  
(1) 看護単位は40床、(2) 夜勤体制を平均4人(今回は3人)、(3) 完全週休2日制と諸休日・休暇の完全取得
- ⑤今後の医療体制の変化は考慮せず、現状での体制を算出する。

### 2. 算出根拠

- ①積算のための基準  
1 看護単位を平均40床に規制し、全国で158万床と想定
- ②休みを保障する指数=365÷(365-年間休日・休暇数)  
週32時間(正循環)  
指数 2.39=365÷(365-夜勤休暇【週32時間とした場合】52-日曜52-土曜52-祝祭日15-年末年始5-夏季休暇3-生休13-年休20)

#### ③1 看護単位(40床の場合)あたりの必要数

##### 1-② 患者4人に看護師1人の場合

(準夜5+深夜5+日勤10)×指数2.39+師長1=48.8人÷49人

##### 1-②' 患者2人に看護師1人の場合

(準夜5+深夜5+日勤20)×指数2.39+師長1=72.7人÷73人

#### ④夜勤日数

##### 1-② 患者4人に看護師1人の場合

師長を除く48人を夜勤稼働人員と考えたと

31日の月 (準夜5+深夜5) × 31日 ÷ 48 ÷ 6.46

年平均 (準夜5+深夜5) × 365日 ÷ 12ヶ月 ÷ 48 ÷ 6.34

##### 1-②' 患者2人に看護師1人の場合

師長を除く72人を夜勤稼働人員を考えると

31日の月 (準夜5+深夜5) × 31日 ÷ 72 ÷ 4.31

年平均 (準夜5+深夜5) × 365日 ÷ 12ヶ月 ÷ 72 ÷ 4.22

#### ⑤病棟(病院)全国の必要人員

##### 1-② 患者4人に看護師1人の場合

49人 × (158万床 ÷ 40床) = 193万5500人 ÷ 193万人

100床当たりの看護師数=122.3人

##### 1-②' 患者2人に看護師1人の場合

73人 × (158万床 ÷ 40床) = 288万3500人 ÷ 288万人

100床当たりの看護師数=182.5人

### 3. 算出に考慮すべき項目

- ① 育児・介護・病気による夜勤免除、短時間勤務
- ② 中高年の業務軽減 50歳以上の夜勤軽減
- ③ 研修・研究・委員会
- ④ 産休、育休、病休者

### 4. 算出結果

- ① 日勤で患者4人に看護師1人の場合200万人
- ② 日勤で患者2人に看護師1人の場合290万人

現在の看護職員の就業者数は149万5572人(2011年)。社会保障国民会議の試算では2025年には198~206.4万人の看護職員が必要になるとしています。  
働き続けられる(辞めさせない)職場をつくるのが大切です。

## 「知ってください 看護師が足りません」東京医労連看護闘争委員会が作成

医労連の看護集会で紹介された、東京医労連看護闘争委員会のパンフの内容を紹介します。パンフのPDFは東京医労連のホームページに記載されています。

### 楽しい食事の時間でも看護師はバタバタ

回復期リハビリ病棟では、食事もトイレも着替えも、全てリハビリです。患者さんの動きを待ち、見守る事が仕事です。食事の時間には3~5人のスタッフで50人近い患者さんの配膳・下膳、食堂への送迎、食事の介助をします。食事前には血糖測定、インスリン投与、そして食後の歯磨き、トイレ対応が重なりバタバタです。フル回転で働いているけど、どこかで患者さんが「スタッフ待ち」をしています。



職場の増員のためにも夜勤改善・増員署名に取り組もう